

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
日・英国共同研究（感染症） 事後評価結果

研究開発課題名	ハイスループット bar-seq 及び一細胞分析による持続性メカニズムの体系的解析
研究開発代表者	武藤 愛
代表機関	理化学研究所

○評価委員会コメント

日本側の大腸菌遺伝子欠失ライブラリーと英国側の 1 細胞観察技術を連携させて抗菌薬存在下で生残する菌の詳細な解析を進め、抗菌薬存在下で生残する菌に特徴的な 2 種類の遺伝子欠損を明らかにしたことは評価でき、英国との共同研究が補完的であったことが認められる。

しかしながら、研究計画にあるストレプトマイシン耐性能を獲得した菌株の作製ができなかったため、これを用いた解析は実施されなかった。また、論文による成果発表や若手育成およびキャリアパス支援の実績については、報告書からは読み取れなかった。今後も英国と連携し、共同研究の継続によって、遺伝子欠損と薬剤耐性下での生残メカニズムの解析に進めば耐性菌対策に資する成果が期待できる。